

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年12月19日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100781
法人名	社会福祉法人 翔風会
事業所名	グループホーム つわぶき
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入町6987番地 (電話) 099-202-0080
自己評価作成日	令和2年10月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年11月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・昼間は小生徒の元気な声が弾みパワーをもらっている、夜は琵琶山の森の癒しで静かな眠りができる。24時間医療連携体制も強化され、入居者様家族様スタッフも安心して生活している。特別養護老人ホーム、隣接するグループホーム、デイケアリハビリテーション、きいれ浜田クリニック、居宅との交流や勉強会ができています。近隣には小学校、市役所、消防署、交番、郵便局、駅、銀行、商店街あり利便性があります。災害時の避難場所もしっかり整っている。誕生日会やイベントごとに理事長、院長マジックの披露で入居者様、家族様参加者を楽しませてくれます。認知症について研修、勉強会 地域の方々との交流や定期的に講師招きケアの向上に努めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念は、自分らしくいきいきと生活できる「人格の尊重」「思いやりの精神」「開かれた家」で、ホールの見やすいところに掲示している。
- ・自治会に加入し、母体の医療機関は長期にわたり地域の医療福祉に貢献し地域からの信頼関係も厚い。
- ・外出支援は年間計画を作成し実施してきたが、今年はコロナ感染防止の為、自粛しており外出ができていない。工夫しドライブ等で支援している。
- ・利用者のストレスがたまらないように体操を強化したりレクリエーションにも工夫し、利用者が楽しめるように取り組んでいる。家族とは、ラインを通じ、簡単な状況報告をしたり動画で利用者や家族とも話している。
- ・年3回の避難訓練は自主訓練を含めて行い、地域から頂いた防災頭巾を活用して行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜勤者との申し送り後、職員会議前唱和し理念に沿ってケアをしましように始まります。</li> </ul>	理念はリビングやトイレに掲示し、いつでも振り返ることができるようにしている。申し送りや職員会議で唱和している。重要事項説明書の中に基本理念があり基本方針や運営方針も記載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会加入総会や清掃、行事参加者との会話の機会を作っている、季節の花や実、食材などやり取りまた頂く。今年はコロナ禍で窓越し面会。防火訓練一緒に行う。</li> </ul>	自治会に入り会合にも参加していたが、地域の祭りや行事が殆ど中止になっている。学校も近くにあるが生徒との交流もひかえている。今まで通り地域からの花や食材などの差し入れがある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々も一緒に認知症研修。</li> <li>民生委員との交流。</li> <li>コロナウイルス禍地域へ出かけて行うことはなかった。</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の現状情報隣のGHとの合同で開催2ヶ月1回の会議をしていましたが、3月からはコロナウイルス禍の中で会議ができていない、報告提出。今までは参加者からの意見、助言を検討質の向上につなげている。</li> </ul>	新型コロナ禍の中、運営推進会議も昨年3月から自粛している。利用者が室内で楽しく過ごしている様子やヒヤリハット・事故報告等の資料を委員へ定期的に手渡したり、送付している。後日電話で意見などを聞きサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括支援センター会議や研修に参加したり、推進会議の参加協力関係を作り気軽に相談、支所窓口で相談できる。</li> </ul>	支所の窓口書類提出に行き必要に応じ報告や相談をしている。地域包括支援センターにも入居状況や事業所の状況報告・運営推進会議の資料を持参したりして意見を聞き、連携を取って協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束について勉強会帰宅願望の強いとき散歩やホーム外へ出るなど言葉遣いに注意している。職員会議で拘束について勉強会をしている。</li> </ul>	マニュアルを基に委員会があり3ヶ月毎に法人全体で研修会を実施している。施設では毎月1回勉強会を行い、身体だけではなく言葉遣いについても話し合いをしている。玄関の施錠は昼間出入りできるように鍵が開放されて、散歩等を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に参加し職員へ伝達している、職員会議で勉強会、検討会を行う、特養との虐待委員会に参加し報告伝えている。言葉遣いについては都度注意をしている。</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年後見制度について研修入居者が他者からの不適当な扱いにより権利利益を侵害されることがないように注意しています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居前にホーム案内し説明同意書を頂いている。</li> <li>本人家族の疑問点の話し合いお互いに理解できている。</li> </ul>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何時でも入居者様、家族様の要望、相談ごとを受け止めている。すぐに解決できることはその日にする。</li> <li>困難な意見や要望等は職員会議で検討、Dr助言を頂くようにしている。</li> </ul>	<p>利用者と日常生活の中でのさりげない言葉や思いなどを記録している。家族へはアンケートを行ったり便りを出したり、ラインで動画を発信して、意見を聞いている。面会は屋外で聞き、意見を貰って、運営に範囲している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議で話し合う。施設長、理事長へ相談意見を頂いています。</li> <li>職員自己他者の評価を行っています。</li> <li>随時意見を聞く時間を設けている。</li> </ul>	<p>職員間のコミュニケーションがスムーズに行われ、運営に関する意見が多く出て、全員で話し合い決めている。自己評価も行い必要時は個別面談も管理者で行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間、1日の勤務流れや終業時間をはっきりしている。</li> </ul>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修へ積極的に参加をしています。・研修後の発表もして自信と質の向上に努めています。内部外部研修を組み立ててくれる。困難ケアの話し合い一緒に実習しています。</li> </ul>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接のGH交流</li> <li>・地域交流研修参加</li> <li>・他の施設交流や見学</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人、家族との面談して生活習慣を把握、不安に思っていること要望を傾聴することで安心して入居できるよう心掛けています。</li> </ul>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人、家族、親戚介護経過を労い、不安や要望を伺い安心して頂けるよう声かけしている。</li> </ul>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人、家族の不安を和らげるように主治医や前サービス担当者を交えて問題となることなどを検討している。</li> </ul>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者様を家族の一員として介護し入居者様ができることは手伝ってもらい共に助けあい、入居者から学ぶこともあります。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス禍で帰省できなかつたり、ライン動画話す、面会も窓越しに語られる笑顔が見られることに、少しはホットしています。</li> </ul>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花見、ドライブを家族や親戚、知人も一緒に楽しかった。買い物、行事に参加することで顔なじみの方に声かけを頂いている。今年は外へ出かけることができなかった。</li> </ul>	2ヶ月毎に美容師の施設訪問を実施し、外に出ることができないので顔剃りや髪の毛をカットしている。地域の馴染みの人達や利用者と昔関わりのあった知人の野菜や菓子の差し入れがあり馴染みの関係を継続している。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションが取れる方は席を近くに取れない方はスタッフが仲介、自由に会話できるように椅子、ソファを動かし準備している。</li> </ul>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退去後も本人の面会や家族相談受け入れる行事等の連絡、参加しています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりに職員担当者を決め、思いや希望を聞いている。カンファレンスで検討する、家族からも情報を得ている。表情や行動を把握して検討する。</li> </ul>	お茶の時間のゆっくりくつろいでいる時など、利用者と懇談したり、個室で話をして、思いや希望などを聞き取っている。利用者の担当を職員で決めているので職員からも情報収集している。意思疎通が困難な場合は、家族からの聞き取りや表情・しぐさから思いを感じ取るようにして、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居前の情報収集や生活する中での言葉を傾聴し、家族、知人、近隣者の面会者からも情報を得る機会を作っている。一人ひとりの習慣を崩さないように本人の暮らしたい要望のケアを統一している。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居様の表情や機嫌を観察し食事水分量等、排泄状態把握して入居者の1日を本人らしく過ごせるように努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の状況を家族面会時TELで伝えて、本人家族の要望聞き取り毎月一人ひとりのカンファレンス検討する。</li> </ul>	<p>本人や家族の意見を聞き、日常の記録から課題分析を行い、介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に実施し、本人や家族・主治医・職員などの意見を参考にしている。状況の変化があった場合は見なおしを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護記録、チェック表を水分量、排泄状況など記録することで日々の様子や体調を把握できています。</li> <li>食事排泄入浴水分服薬記録確認出来て早期に気付くことが出来る。</li> </ul>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人や家族の状況、要望に対応するも、困難な時は施設長、理事長に相談して対応しています。</li> </ul>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事やボランティア活動、花見ドライブなど今年ではできなかった。コロナウイルス禍面会外出等自粛</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人家族の要望で受診、現在は写真でDr見てもらい処方、マスク着用で検査している。</li> </ul>	<p>契約の時にかかりつけ医の希望を聞いて支援している。訪問診療を月2回実施し、緊急時の対応もできている。皮膚科や歯科などの受診時は、家族が同行し、職員で対応する時もある。家族への受診後の報告も実施している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに看護師がいる状況になり、本人、家族、職員安心しています。</li> </ul>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院先の担当者と連絡、情報交換を行い、家族へ連絡しながら主治医の指示を頂いたり、退院後の対応や職員、入居者様の不安等について検討話し合いをしている。</li> </ul>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居時に重度化した場合の説明、同意書を頂いている急変したときや終末期になったときは話し合いをもって本人家族の方針を受け入れています。Dr説明家族の理解のもとで計画作成、看護介護に努めています。</li> </ul>	<p>入居時に終末期の事を説明し同意を貰っている。重度化になった場合は家族と主治医で話し合っ、家族の意向を大切に進めている。看護師の体制が整っているのでチームで支援している。看取りの実績がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・職員会議や全体会議でAED、急変時や危険予知について勉強会を行っている。インシデント・アクシデント書類を提出し対応方法などを検討し職員間で共有している。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・火災、水害、津波、地震 夜間想定避難訓練しています。 地域の住民、家族の協力も得ながら施行。 避難場所、小学校、4階建屋上です。 運営推進委員の方も年1回訓練します。 今年は事業所のみ行いました、コロナウイルス禍で他者の協力を中止。</p>	<p>災害訓練を年3回昼・夜間を想定し実施している。消防署は今年不参加の為、報告書を送付している。地域の協力がある。避難訓練・災害訓練・避難経路・避難場所の確認を行っている。備蓄は缶詰・インスタント食物・水等を備え、約1週間分の食材とコンロなどがある。地域の人から防災頭巾を作ってもらったので訓練の時活用している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送り後で理念を唱和理念に沿ったケアをしていきましょう仕事開始。言葉使いや介護方法などその方のプライバシー保護、個人を尊重したケアを実践している。</li> </ul>	<p>一人ひとりの個性や生活歴・希望を大切に尊厳を守り支援している。トイレへの声掛け等、言葉遣いに注意している。入室時はノックをして声かけをし本人の了解を得ている。風呂場などでも羞恥心やプライバシーを守って支援している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の行動や表情を把握し本人ペースに合わせながら対応している。本人の意見を傾聴しながら本人に決めていただいている。</li> </ul>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の体調、行動を把握し、食事や行動など調整している、また入居者のペースに合わせて支援している。</li> </ul>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服選びは本人に決めてもらう、出来ない時は季節を考え選びます、鏡を見ながら髪を本人が決めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶をいれたり、後片付け等出来る時には感謝の気持ちを伝えながらお願いしている。</li> </ul>	<p>年1回食べたいもののアンケートを利用者に対して実施し好みや外食の希望があれば希望に沿えるようにしている。餅つきやそば打ちを年末に実施していたが、現在はそば打ちのみしている。食事時の際はできる部分のことを一緒に行っている。行事食や誕生日等は弁当で対応し、ケーキは職員で作っている。家族へはその様子を写真で報告している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養管理士の献立に沿って調理、提供している。食事水分摂取量確認し不足時は補う物を提供しています。必要に応じて主治医に報告をしています。</li> </ul>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃より、口腔ケアの大切さを伝えたり、うがい歯磨きを行って頂き、仕上げを援助している、定期的に歯科衛生士による口腔ケアを行っている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄の訴えができる入居者はすぐに対応し、できない入居者は排泄記録で排泄パターンを確認しトイレ誘導排泄を促している。</li> <li>PW→トイレへ促す、おむつ→リハパンへ</li> <li>尿意便意ない入居者へは排泄記録を確認して排泄の有無傾聴しトイレ誘導やパッド交換に努めている。</li> </ul>	排泄パターンを把握し声かけ・誘導をしている。排泄確認をして便秘や体調の状況を把握している。昼間はトイレへ誘導の声かけをするように努め、排泄の失敗をなくしていくケアに努めている。オムツからリハビリパンツになった事例がある。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェック表確認（食事、水分量、排泄）確認し、個々に応じて対応しています。</li> <li>繊維食材や下剤服用は排便に応じて調整しています。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者、家族の要望で入りたい時いつでも入浴をしています。</li> <li>入浴時間を聞きながら入浴できています、拒否の方はスタッフ交代したり言葉を変えたり、家族の応援を頂いたりして入浴できている。</li> </ul>	週2回入浴を実施し希望に合わせて支援している。入浴拒否する利用者には時間をずらしたり職員を変えたり無理強いしないようにしている。時には家族の協力をもらったりして対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとり気持ちを聞きながら時間の状態に応じ対応し、安心して眠れるよう声かけ支援している。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬は処方に従って与薬する副作用、用量などについてカンファレンスで説明、臨時薬は都度申し送り誤薬のない様に確認して与薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・本人の得意なこと、できること楽しみながらすることをスタッフで話し合い、一緒にやってみる、気分転換の支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・入居様要望で外出が出来ていたのに、現在はコロナウイルス感染予防のため出来なくなっています。ホームの周りぐらい。	ホーム近隣を散歩したり畑の野菜の成育状況を見て収穫も一緒にしている。近くの小学校の部活動状況を眺めたりして楽しみの時間を作っている。医療機関受診時、車窓から季節を感じたりしている。コロナ感染防止の為、外出の機会が少なくなっている事からいろんな機会にドライブに出かけることに努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・金銭管理が出来る人は財布持参、家族スタッフで財布の金銭確認をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	・家族の状況等を伺いたい時はいつでもTEL掛けられるようにしています。現在はライン動画家族と話す。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・玄関、リビングに季節の花、飾り、畑には野菜を植えて季節感を感じてもらっています。音、光、色、温度、湿度光は強弱ができる、カーテンを柔い色クリーニングします、空気清浄機加湿器を置き配慮している。換気消毒も時間ごとに実施、居心地よく過ごせるように援助。	リビングはエアコンや加湿器・空気清浄機を設置し、定期的に窓の解放を行い換気をしている。カーテンや壁・飾りつけなどは刺激のない配色などで工夫している。施設の玄関とグループホームの玄関が2重になっていて安全面に配慮している。廊下が広く車いすでも十分に移動できる。季節感のある花が玄関に飾られくつろげるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・入居者同士の会話を楽しまれるように、椅子やソファを動かす、ゆっくりした時間提供に援助、TV前に椅子を運んだり、皆で一緒にお茶を飲まれるよう援助している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居前に使用した品物、仏壇、大正琴、ダンス電気製品など持ち込んで頂きゆっくり安心して過ごせるよう支援している。</li> </ul>	<p>個々人の馴染んできた身の回りの小物や小型冷蔵庫・テレビ・ダンス・仏壇・テーブル・ソファを持ち込み、安心できる居心地のいい居室で、携帯電話所持者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居様の機能を低下することのないよう、出来ることを活かし、出来るだけ自立した生活が送れるようスタッフで検討工夫している。</li> </ul>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない